

平成29年秋の国内工場見学会

平成29年10月12日（木）午前8時30分に集合して貸切りバスにて京都府宇治田原へ向けて出発致しました。今回の見学先は①株式会社阪口製作所 宇治田原工場と②濱田プレス工藝株式会社 京都工場の2社を見学訪問致しました。阪口製作所様は京都府金属プレス工業会の会員企業、濱田プレス工藝様は、当大阪金属プレス工業会の会員企業です。いずれの工場も宇治田原工業団地の中にあります。今回の見学会参加者は計31名（事務局含め32名）と沢山の方にご参加頂きました。

① 【株式会社阪口製作所】

資本金1,500万円、従業員97名、国内2工場、海外1工場、自動車用安全部品（シートベルト部品等）及びその他金属部品の製造・販売をしている企業です。宇治田原工場で生産し本社工場にてアセンブリーを行なっておられます。今回は宇治田原工場を見学させて頂きました。

昨年創業70周年を迎えられ、品質最優先をモットーに100年続く企業を目指し従業員一丸となって取り組まれています。プレス機はサーボプレス化計画を掲げられ、各メーカーのサーボプレス機をその特徴に応じて使い分けておられます。サーボプレスに切り替えることにより金型の寿命も大きく延ばし、複雑な加工も可能となりサーボプレス機を十分に使いこなされておられます。工場見学においては「隠し事はしないのでどこでも見て下さい」と阪口会長のお言葉を頂き、参加者は各自見たいところを十分に見学させて頂き、質疑応答をさせて頂きました。



阪口製作所様の会社説明・質疑応答



阪口製作所様の工場内見学風景



阪口製作所様の前で記念撮影

② 【濱田プレス工藝株式会社】

資本金3,600万円、従業員120名、国内3拠点（本社、京都工場、東京営業所）今年で創業70年目を迎えられる当大阪金属プレス工業会の会員企業です。薄板、大物、深絞を得意とされ、プレス加工のみならず溶接、仕上げ加工、塗装、組立までを一貫生産されておられます。主な製品は農業機械や二輪向けの外装部品ですが、約50年前から自社ブランド「メリックス」でツールキャビネットを製造販売され、近年ではLED天井用照明器具や行政向けLED防犯灯、デジタルサイネージなどの自社ブランド品の開発、製造、販売に更に力を入れておられます。自社ブランド品の比率50%にする目標を掲げられ、上記以外においても現在進行中のプロジェクトがあるとのこと。

工場見学ではプレスラインや粉体塗装、溶接など様々な工程で多種多様の設備が稼働していました。大型レーザー加工機では材料が自動供給され24時間稼働可とのことで皆様熱心に見ておられました。

質疑応答では社員教育に関するお話もあり、従業員の技能向上への取組み、また原価に上乗せ出来ない残業をゼロにする取組みもご紹介頂き、従業員のモチベーションも高いと感じました。



濱田プレス工藝様の会社説明



濱田プレス工藝様の工場見学風景



濱田プレス工藝様の前で記念撮影

【最後に】

今回は当工業会と関係の深い2社の工場見学会でしたが、いずれも手厚い歓迎、おもてなしを頂きましたこと大変感謝致します。帰りのバスの中では、参加者された皆様お一人ずつ、感想などの自由なご意見を述べて頂きました。皆様から「非常に参考になる有意義な一日でした。」とのお言葉を頂きました。